

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 林道事業

箇所名: 青野八木山線

照会者: 森林所有者9名、森林組合関係者1名、関係市町2

担当課: 森林整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道を活用している。</li> <li>事業継続を要望する。</li> <li>改築部分の早期完成を望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改築部分の早期完成に向けて事業を継続する。</li> <li>地元市町と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
2	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道を活用している。</li> <li>事業継続を要望する。</li> <li>改築部分の早期完成を望む。</li> <li>全線の早期開通を希望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通ならびに、改築部分の早期完成に向けて事業を継続する。</li> <li>地元市町と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
3	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道を活用している。</li> <li>事業継続を要望する。</li> <li>改築部分の早期完成を望む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改築部分の早期完成に向けて事業を継続する。</li> <li>地元市町と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
4	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林の手入れにも活用できることから森林の子孫への継承にも役立つと思う。</li> <li>事業継続を要望する。</li> <li>森林管理、木材利用、観光レクリエーションにも道は必要。</li> <li>青野への迂回路、アクセス道としても期待している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>森林管理、木材利用のみならず迂回路として使用可能な林道としての整備に配慮して、事業を実施する。</li> <li>地元市町と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
5	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐期を迎えた木材の搬出のためにも不可欠な林道である。</li> <li>改築部分の事業実施により、全線で10トントラックの走行が可能となることを期待する。</li> <li>事業継続を要望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通ならびに、改築部分の早期完成に向けて事業を継続する。</li> <li>地元市町と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
6	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続を要望する。</li> <li>防災上の重要な道であるので早期開通を要望する。</li> <li>生活基盤にも利するとともに、将来的には林業にも必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>地元市町と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>
7	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続を要望する。</li> <li>全線の早期開通を希望する。</li> <li>改築部分の早期完成を望む。</li> <li>完成後にしっかり管理できるよう設計配慮を要望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通ならびに、改築部分の早期完成に向けて事業を継続する。</li> <li>林道管理者である地元市町と調整するとともに、管理面を含めたトータルコストを検討した設計に努める。</li> </ul>
8	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続を要望する。</li> <li>蛇石峠の県道の迂回路としても早期開通を期待する。</li> <li>西伊豆への病院利用等に活用できる。</li> <li>既設林道の管理もよくしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>林道管理者である地元市町と調整するとともに、管理面を含めたトータルコストを検討した設計に努める。</li> <li>林道管理については管理者である地元市町へ情報提供する。</li> </ul>
9	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続を要望する。</li> <li>全線の早期開通を希望する。</li> <li>木材生産のみでなく、ダムサイトをからめた、レクリエーションや観光資源(キャンプ場)にも利用できないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>林道周辺利用に対する希望については地元市町へ情報提供する。</li> </ul>
10	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続を要望する。</li> <li>森林の手入れや木材搬出に活用したい。</li> <li>松崎側への迂回路として使用したい。</li> <li>早期開通を望む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期開通に向けて事業を継続する。</li> <li>地元市町と調整し早期完成を目指す。</li> </ul>

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道136号 雲見～松崎工区

照会者: 道路改築事業の受益者 9名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	夏期には観光客の流入も多く、緊急次案が発生した場合、道路の狭窄箇所、連続する急カーブが点在することから、救急搬送時の傷病者への負担が増している。火災・災害等の出動における路線バス、観光バス等の大型車両とのすれ違いに細心の注意を要するなど機関員の負担が増している。雨量、落石等による通行規制により孤立する地区があることから、災害に強い道路整備が必要である。	整備により、狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保され、高度医療機関へのアクセス向上にも寄与し、伊豆半島西南地域の孤立化も防止できるため、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	南海トラフ大震災が予想される中、災害に強い道路整備(拡幅・崩落防止等)を望む。大津波が襲来し、道部及び三浦地区が浸水した場合、岩地区は完全に孤立した状態に陥る。迂回道路が必要である。	整備により、狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保され、伊豆半島西南地域の孤立化防止に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	狭隘箇所が多く、落石や崩落防止の法面整備と合わせた道路整備が必要である。	整備により、狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	大型車両の交差もできず、大雨、地震が来ると非常に心配なので、災害に強い安全な道路整備事業が必要である。	整備により、狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保され、災害時における伊豆半島西南地域の孤立化を防止できるため、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	当該区間は大雨等で雨量が増加すると落石や斜面崩壊の危険が高まり、大変不安である。また、所々一車線しかない区間があり、観光で訪れる人にとって不便となっている。災害に強い安全で安心な道路整備、幅が広く快適な道路整備が必要である。	整備により、狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるとともに、観光バス等による観光交通のアクセス性の向上にも寄与することから、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	生活道路としても観光用道路としても大変重要な道路であり、災害や雨量規制で通行止めとなると、地区の孤立、観光の風評被害等、大きな影響がある。安全面、観光振興の面において、事業継続、早期完成を希望する。	整備により、狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保され、災害時における伊豆半島西南地域の孤立化防止や観光の活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	道路幅が狭く、観光客が通行に苦労している。さらに防災上も落石や車が落ちる等、非常に心配である。大地震発生も予想されているので是非事業継続を希望する。	整備により、狭隘かつ線形不良区間が解消されることで、安全で円滑な交通が確保され、災害時における伊豆半島西南地域の孤立化防止や観光の活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	岩地、石部、雲見の住民にとって通学・買い物・通院の唯一の道路となっており、松崎町自主運行バスの運行路線である。また、南伊豆町から松崎高校に約20名の学生にも利用している。狭隘部分では大型車両同士の交差は不可能であり、西伊豆東海バスの車両同士では無線のやりとりをして交差している状況である。運転士にとって海と山に挟まれた最も危険な道路となっているため、早期の改良を希望する。	整備により、狭隘かつ線形不良区間の解消されることで、安全で円滑な交通が確保されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	災害時の緊急輸送路の確保、雨量規制、大型車のすれ違い困難、未整備部分での脱輪事故発生の問題があることから、道路の拡幅が必要である。	整備により、狭隘かつ線形不良区間の解消されることで、安全で円滑な交通が確保され、高度医療機関へのアクセス向上にも寄与し、早期完成を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道150号志太～榛南バイパス

照会者: 道路改築事業の受益者10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	早期に4車線開通及び歩道橋の整備をお願いしたい	志太～榛南Ⅱバイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和により、交通の円滑化が図られ利便性が向上するとともに、歩道橋の整備箇所は、地元の通学路になっており、早期完成を目指し事業を推進する。
2	事業継続を要望	早期に歩道橋の整備をお願いしたい	歩道橋の整備箇所は、地元の通学路になっており、早期完成を目指し事業を推進する。
3	事業継続を要望	早期に事業完成をお願いしたい	志太～榛南Ⅱバイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
4	事業継続を要望	交通量が増えてきており危険である。早期に事業完成をお願いしたい	志太～榛南Ⅱバイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
5	事業継続を要望	交通量が増えてきているので、早期の完成を願う	志太～榛南Ⅱバイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
6	事業継続を要望	早期に供用開始を望む	志太～榛南Ⅱバイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
7	事業継続を要望	早期に供用開始を望む	志太～榛南Ⅱバイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
8	事業継続を要望	早期に事業完成をお願いしたい	志太～榛南Ⅱバイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
9	事業継続を要望	早急なインフラ整備をお願いしたい	志太～榛南Ⅱバイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
10	事業継続を要望	大至急工事を完成していただきたい	志太～榛南Ⅱバイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和により、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道150号志太～榛南Ⅱバイパス

照会者: 道路改築事業の受益者10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	吉田町と牧之原市の間の交通時間短縮が図られ、バイパスを整備することによるメリットがある。	志太～榛南バイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和に寄与し、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
2	事業継続を要望	整備することで現在の交通渋滞が緩和されるため整備を進めてほしい。	志太～榛南バイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和に寄与し、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
3	事業継続を要望	牧之原市(細江地区)から東側(焼津方面)に行くのはとても便利であり、早期の事業完成を望む。	志太～榛南バイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和に寄与し、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
4	事業継続を要望	整備区間も残り少ない状況の現時点において特段意見はないが、事業の早期完了を望む。	本区間においては、用地取得も完了し、未整備区間も少ないことから、早期完成を目指し事業を推進する。
5	事業継続を要望	バイパス整備により流通(物流)が良くなることから早く供用開通してくれることを望む。	大井川焼津藤枝スマートインターチェンジが平成28年3月に供用を開始し、東名高速道路へのアクセス性が向上している。志太～榛南バイパスとともに本区間の整備により、さらなるアクセス性が向上するため、早期完成を目指し事業を推進する。
6	事業継続を要望	物流の時間的なメリットは大きく、ここまで事業が推進されている状況であり、早期の整備完了を望む。	大井川焼津藤枝スマートインターチェンジが平成28年3月に供用を開始し、東名高速道路へのアクセス性が向上している。志太～榛南バイパスとともに本区間の整備により、さらなるアクセス性が向上するため、早期完成を目指し事業を推進する。
7	事業継続を要望	観光協会としてバイパス整備により、静岡、焼津からの来客が見込めると期待している。	大井川焼津藤枝スマートインターチェンジが供用を開始し、東名高速道路とのアクセス性が向上しており、バイパス整備により、交通の円滑化が図られ、観光入込客数の増加にも資するものと考えられ、早期完成を目指し事業を推進する。
8	事業継続を要望	是非とも道路の整備を推進してほしい。	志太～榛南バイパスとともに本区間の整備は、現道の交通渋滞の緩和に寄与し、交通の円滑化が図られ利便性が向上することから、早期完成を目指し事業を推進する。
9	事業継続を要望	吉田町は倉庫が多く道路整備により便利になることから、引き続き整備を希望する。バイパス利用により現道の大型トラック混入率が減少することで、交通安全が確保される。	志太～榛南バイパスとともに本区間の整備は、物流を中心とした大型車両のバイパスへの転換が図られるため、現道部の安全性の向上に資するものであることから、早期完成を目指し事業を推進する。
10	事業継続を要望	バイパスが整備されることで、例えば、焼津さかなセンターなどを案内しやすくなり、観光客の入込客数の増加が期待できる。	バイパス整備により、交通の円滑化が図られ、観光入込客数の増加にも資するものと考えられ、早期完成を目指し事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道301号利木拡幅

照会者: 自治会、地権者、学校関係者、市議会議員

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	利木道路工事完成後、旧道の利木架道橋付近に設置されている信号機について、警察の方で、ふじえ交差点に移設してもらえる予定である。ふじえ交差点に移設してもらえると、そこで安心して児童が国道を横断できる。	整備により、線形不良区間の解消や歩道が設置されることで、児童の安全を確保し、交差点移設についても警察との日程調整を行い、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	早く歩道を完成させないと、少子高齢化の影響で時勢が変わり、歩道を利用する子供がいなくなってしまう。数日前、車が飛び込む事故が発生したため、早期完成を要望する。	整備により、線形不良区間の解消や歩道が設置されることで、児童の安全を確保されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	早期完成は地域の悲願である。途中で中止してもらっては困る。	工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	早期歩道事業の完成を望んでいる。新利木架道橋完成時期が遅れる件について、了解した。現在、児童はスクールバスで通学しているが、道路改良後、歩道ができれば、健康のために歩道を歩かせ通学させる予定である。早期の工事完成を希望している。	地元の通学路になっており、整備することにより、線形不良区間の解消や歩道が設置され、児童の安全が確保されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	引き続き事業を継続してほしい。事業の早期完成を望んでいる。	工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	引き続き事業を継続してほしい。事業の早期完成を望んでいる。先日、近隣で立て続けに交通事故が発生した。安全に走行できる道路整備を望んでいる。	地元の通学路になっており、整備することにより、線形不良区間の解消や歩道が設置され、児童の安全が確保されるため、早期完成を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道362号青部バイパス

照会者: 道路改築事業の受益者10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	待望の全線開通の日が見えてきた。早期完成を目指し、引き続き進めてもらいたい。	工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	青部バイパス全線開通による交通の利便性向上により、本町への入込客増、それに伴う茶の販売量の増加が期待できる。	整備により、現道の狭隘かつ線形不良区間が解消され、交通の利便性が向上し、観光客の増加など地域活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	川根茶の産地を守っていくためには、道路整備は必要不可欠である。今後製茶工場の集約も検討する必要があるが、茶園から工場までの運搬時間を短縮でき、若者の参入も期待できる。	整備により、現道の狭隘かつ線形不良区間が解消され、交通の利便性が向上するため、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	青部バイパスの供用開始により、交通の難所が解消され、観光シーズンの道路規制(片側交互通行)も無くなり、バス等の大型車両もスムーズな通行が可能となる。	整備により、現道の狭隘かつ線形不良区間が解消され、観光交通による渋滞が回避でき、観光客の増加など地域活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	旧中川根町と旧本川根町が合併して川根本町が誕生したが、面積が広いこともあり一体感がなかったが、青部バイパスの完成により、合併の効果をより期待する。	工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	木材の流通を考えると、青部バイパスの完成は非常にありがたい。大型トラックで狭隘区間(藤川～崎平)を通行するストレスがなくなり、運搬費用を下げる検討ができるため、今後伐採費用を安くできる可能性がある。	整備により、現道の狭隘かつ線形不良区間が解消され、交通の利便性が向上するため、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	BCP(事業継続計画)のためにも、バイパス道路の完成は非常にありがたい。社員の通勤、材料及び製品の物流には道路整備は不可欠である。特に観光シーズンには輸送トラックの運転には注しており、1日も早い供用開始を期待する。	整備により、現道の狭隘かつ線形不良区間が解消され、交通の利便性が向上し、観光シーズンの渋滞緩和にも寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	青部バイパスの完成により農作物の市場までの出荷時間が短縮できる。	整備により、現道の狭隘かつ線形不良区間が解消され、交通の利便性が向上するため、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	木材の出荷のための大型車両の移動が容易になる。今後計画されている温泉ボイラーに町内の木材を薪として利用する木質エネルギーの基地とする計画までの運搬が容易になる。	整備により、現道の狭隘かつ線形不良区間が解消され、交通の利便性が向上するため、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	1日でも早い供用開始をお願いしたい。藤沢橋の供用開始以来青部地区内の通過交通量が増えている。	整備により、現道の狭隘かつ線形不良区間が解消され交通の利便性が向上するため、早期完成を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道414号 須原拡幅

照会者: 道路改築事業の受益者 9名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	須原地区のほとんどが拡幅された。伊豆縦貫道関連の工事車両が多くなっているので、地元住民が事故なく安全に通行できるようにお願いしたい。	残区間に対しても工程管理を徹底し、施工時の安全確保に努め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	下田消防本部の管轄する市町から管轄外へ救急搬送する場合、夏期には道路渋滞を回避するため、国道414号を利用する。搬送の際には傷病者及び機関員の負担が増している。火災・災害等の応援出動時には大型車両の出動となる。国道414号が拡幅されることで、機関員の負担、事故防止に繋がるとともに、大規模災害時のバックアップルートとしての効果が大い。本事業の継続を強く要望する。	災害時の緊急輸送路としての機能を最大限に発揮するためにも、工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	伊豆地域全体の発展に事業継続を要望する。歩道が寸断されている場所があるので整備してほしい。	整備により、特殊通行規制区間の規制緩和が可能となり、南部地域への観光交通のアクセス性が向上することで、観光の活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	地元住民は勿論、来訪者にとっても便利になる。	工程管理を徹底し、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	伊豆への来訪者が走りやすく、また来訪したいと思える道路整備を希望する。工事中の渋滞、夏期の渋滞緩和に努めてほしい。	整備により、特殊通行規制区間の規制緩和が可能となり、南部地域への観光交通のアクセス性が向上することで、観光の活性化に寄与するため、施工時の渋滞対策にも考慮し、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	伊豆地域発展のため整備継続が必要。曲線区間が多いので、なるべく直線にしていきたい。工事中の渋滞緩和に努めてほしい。	整備により、狭隘ですれ違い困難な状況及び道路線形が改善され、特殊通行規制区間の規制緩和が可能となり、南部地域への観光交通のアクセス性が向上することで、観光の活性化に寄与するため、施工時の渋滞対策にも考慮し、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	当該区間を運行する下田市自主運行バスは小学生の通学をはじめ地元住民の足となっている。一部区間が狭隘のため普通車のすれ違いも困難、最近では道路改良の成果で沼津方面から往来する観光バスの通行も多くなり、立ち往生して渋滞を招くこともあるので、早期の改良を望む。	狭隘かつ線形不良区間の解消により、安全で円滑な交通が確保されることでの波及効果として、日常の通勤・通学においても利便性向上が期待されるため、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	他県市町からの来訪者がカーナビを設定すると、天城から下り、河津町の下佐ヶ野の交差点で右折指示を出し、国道414へ侵入するコースを案内する。知らない道路での運転は精神的な負担が大きく、まして狭い道路となると、急ハンドル、急ブレーキの回数も増え、余計な負担が大きくなる。来訪者には、しっかりとした二車線の舗装された道路で、できるだけ快適な運転ができるようにしてほしい。	整備により、狭隘ですれ違い困難な状況及び道路線形が改善され、交通の利便性が向上するため、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	伊豆縦貫道開通による交通量の変化、災害時の緊急輸送路の確保、緊急車両の安全な通行のため、道路拡幅は必要である。	災害時の緊急輸送路としての機能を最大限に発揮するためにも、早期完成を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般国道469号山宮バイパス

照会者: 道路改築事業の受益者 5名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	早期に開通してほしい。 裾野・御殿場方面に行く際、非常に便利になる。 観光上、重要な整備と考える。	富士山周辺には世界遺産の構成資産や観光施設が多数存在しており、アクセス道路の円滑な交通が確保されることで、観光の活性化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	現在の状況は利用勝手が悪いので、早期の工事を願う。	狭隘かつ線形不良箇所をバイパスすることにより、安全で円滑な交通機能を確認し、富士山南麓地域の東西ネットワークの強化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	御殿場・裾野方面への行き来が楽になり、地域の活性化が期待できる。 道路を整備することにより、安全な走行が可能になると思う。	狭隘かつ線形不良箇所をバイパスすることにより、安全で円滑な交通機能を確認し、富士山南麓地域の東西ネットワークの強化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	慢性化している渋滞解消のため、早期に開通してほしい。	整備により、現道の交通量がバイパスへ転換され、沿線の生活環境の向上に資するため、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	大型車が住宅地を通るので、早期に開通してほしい。	狭隘かつ線形不良箇所をバイパスすることにより、安全で円滑な交通機能を確認し、富士山南麓地域の東西ネットワークの強化に寄与するため、早期完成を目指して事業を推進する。
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: (主)富士富士宮由比線

照会者: 富士市松野地区自治会役員19名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続希望	道路はすべてつながって意味があるものです。一部が狭いだけでも実施した工事が無駄になる。事業区間外の峠付近も拡幅が必要です。	約300m区間について未整備箇所が存在しています。早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続希望	由比との往来が楽になり行動範囲が広がります。早期完成を希望する。	松野地区にとって、静岡方面に向かう生活道路であることは十分認識しております。通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続希望	5年前まで通勤のため毎日利用していましたが、対向車との擦れ違いに苦労した思い出がある。年々道路が整備されてきてうれしく感じている。全線安心して通ることができるようお願いしたい。	静岡方面に向かう生活道路であることは十分認識しております。通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続希望	これまでは、道路幅員が狭くすれ違いが困難で通行していませんでした。特に雨の日や夕方などは危険を感じました。今後快適かつ安心安全な走行のため道路拡幅工事を最後まで実施していただきたい。	通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続希望	地震災害時の緊急輸送道路確保として重要路線です。早期完成を希望します。	松野地区にとって、緊急時の輸送路としての位置づけであることも十分認識しております。通行車両の安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続希望	富士市松野から静岡市清水区由比までの拡幅を希望する。現在の事業区間(下平地区)までの拡幅では不十分です。	まずは、現在事業区間である下平地区まで(L=2.9km)について早期完成を目指して事業を推進します。
7	事業継続希望	由比に25年間通勤に利用していました。整備前は道も狭く大型車は進入しトラブルが発生することがありました。まだ、カーブで急なところが残っておりすれ違いに危険を感じたことが多々あります。安全に通行できるように事業の継続をお願いしたい。	静岡方面に向かう生活道路であることは十分認識しております。通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続希望	安全な走行を確保するため事業を完成させてほしい。残区間頑張ってください。	通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続希望	由比と松野をつなぐ重要な路線です。通行量が多く対向車があると危険を感じます。事業継続を希望します。	静岡方面に向かう生活道路であることは十分認識しております。通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続希望	地形的に松野地区は自然災害時に孤立化する可能性が高い地区です。静岡市側の道路整備は災害時の緊急輸送路としてどうしても必要です。	松野地区にとって、緊急時の輸送路としての位置づけであることも十分認識しております。通行車両の安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: (主)富士富士宮由比線

照会者: 富士市松野地区自治会役員19名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
11	事業継続希望	幅員狭小部分の改良、法面補強により安全性を確保して欲しい。	通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
12	事業継続希望	清水、由比方面に行くのに、国道1号方面(富士方面)を通過すると渋滞があり問題があります。当路線がスムーズに通行できることで交通が分散し、富士市方面の渋滞が減るのでないかと思われます。	富士川橋方面が渋滞することは十分認識しております。通行車両の快適かつ安全な走行を確保する事業を推進することで、地域の渋滞緩和効果を図っていきます。
13	事業継続希望	初めて当路線を通りました。未整備箇所は対向車が確認できず危険を感じました。また、がけ崩れの危険も感じました。生活道路として、東名高速やバイパスの迂回路として必要な路線ですので、事業の継続を希望します。	通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
14	事業継続希望	整備前は道路が狭く、対向車に気を使いながら運転していました。道路が整備された区間については、とても走り安くなりました。事業の継続を希望するが、交通量が増え事故の危険度が増すことが心配です。	通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
15	事業継続希望	残り300mの早急の工事完了をお願いしたい。	通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
16	事業継続希望	富士富士宮と由比を結ぶ大変重要な路線であると思います。道路幅員の済んでいない区間は車同士のすれ違いも困難な状態なので引き続き事業を進めて、災害時や緊急時に役に立つ道路としてください。	松野地区にとって、緊急時の輸送路としての位置づけであることも十分認識しております。通行車両の安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
17	事業継続希望	由比に25年間通勤に利用していました。整備前は道も狭く大型車は進入しトラブルが発生することがありました。まだ、カーブで急なところが残っておりすれ違いに危険を感じたことが多々あります。安全に通行できるように事業の継続をお願いしたい。	静岡方面に向かう生活道路であることは十分認識しております。通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
18	事業継続希望	県道富士川身延線は通勤ラッシュ時は相当渋滞します。渋滞解消のため、安全に通行できる当路線の整備を希望します。	富士川橋方面が渋滞することは十分認識しております。通行車両の快適かつ安全な走行を確保する事業を推進することで、地域の渋滞緩和効果を図っていきます。
19	事業継続希望	幅員が狭く、見通しが悪い道路では、脱輪、転落の危険性があります。事業を継続し、安全で走りやすい道路の整備を希望します。また、道路が良くなれば道路利用者も増えてくると思われます。	通行車両の快適かつ安全な走行を確保するため、早期完成を目指して事業を推進する。
20			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 道路改築事業

箇所名: 一般県道富士由比線(新々富士川橋)

照会者: 道路改築事業の受益者10名

担当課: 道路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	現在は、富士川により同じ市内でも分断されているが、橋梁を整備することにより、交流が広がり地域間の活性化が図られる。	富士市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	橋梁に幅員が広い自転車歩行者道ができることにより、通勤・通学に安全な通行が確保できる。	歩行者、自転車利用者等にも配慮し、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	現道の慢性的な渋滞の緩和が図られるため、地域の活性化につながる。またスマートインターが近くなることにより経済的な効果も期待できる	富士市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	災害時の緊急輸送路としても、選択肢が増えることにより、安全・安心が確保できる。	早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	渋滞による苛立ちから無謀な運転がみられるため、早期の渋滞の緩和を願っている。	早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	現富士川橋の交通量が減り渋滞が緩和される。ただし、橋梁を整備することにより市街地内道路の整備も進めてほしい。	富士市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	朝夕の通勤時間帯の慢性的な渋滞を解消する有効な施設だと考える。ただし市街地側には住宅地、学校施設があるため、アクセス道路の整備、騒音対策等の配慮をすすめてほしい。	富士市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	渋滞を分散して緩和するためにも早期に開通をしてもらいたい。	早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	芝川方面から富士市街地へのアクセスが向上する。	早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	富士川橋周辺地域の渋滞の早期解消 災害時の代替道路としての利用 観光ルートとして整備すれば地域活性化につながる	富士市施行事業との連携を一層密にし、早期完成を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 広域河川改修事業

箇所名: 二級河川 瀬戸川(石脇川工区)(瀬戸川工区)

照会者: (二)瀬戸川(石脇川・瀬戸川工区) 広域河川改修事業の受益者 11名

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	浸水に対する安心・安全の確保のために、改修工事の継続を要望する。(4件)	流域の安心・安全が確保されるよう、今後も事業推進に取り組みます。
2	事業継続を要望	大雨の際には水位が上昇し、浸水の不安を感じるため、上流区間についても早期の事業完了を要望する。(3件)	早期完成を目指し、今後も事業推進に取り組みます。
3	事業継続を要望	ごみが溜まっているような状況であり、悪臭が発生していることから、水質の改善を望む。また、生物が息息できるような自然環境を創出して欲しい。(7件)	上流工区から流水を取り入れ、滞留による水質悪化を改善する計画としています。さらに、下水道事業の促進による生活排水の流入の改善を図ります。
4	事業継続を要望	近年多発する集中豪雨への対策を講じて欲しい。(2件)	河川改修といったハード面の対策だけでなく、水害版図上訓練の実施や水位監視システムの構築、及び雨量・水位データの公表といったソフト面での対策の拡充を図っていきます。
5	事業継続を要望	地震・津波に対する防災・減災対策についても要望する。(1件)	地震・津波対策として、石脇川水門・石脇川新水門において、大規模地震に対する補強対策を実施しています。
6	事業継続を要望	工事に際し、通行安全面への配慮をお願いしたい。(1件)	十分な配慮の上、事業推進に取り組みます。
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 広域河川改修事業

箇所名: 二級河川 太田川

照会者: 磐田市和口自治会、袋井市浅羽西連合自治会

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	見直しを要望	土砂運搬のダンプが細い道を何度も往復しているのが危ないので、早く終わらせてほしい。	土砂運搬車両の安全対策として、運搬台数制限、運搬ルートの制限、登下校中の運搬制限等を検討し、周知徹底を図るとともに、早期の工事完成を目指します。
2	事業継続を要望	耕作地の保全、用水、農道の整備、大型農機導入による配慮。 農地買収から四半世紀、太田川をどのようにしたいのか、洪水軽減以外のビジョンは無いのか、遺跡に対するモニュメントの考えは無いのか？和口橋(自転車橋)利用者の利便性動向等についても、総合的に考えを示してほしい。	耕作地等の配慮として、河川管理者以外の関係機関と調整が必要となるため、引き続き意見を聞きながら、河川管理者として協力できることを検討していきます。 河川改修については、治水、利水、及び環境に配慮して整備を進めており、継続的に整備の状況や事業効果等を情報提供していきます。 埋蔵文化財については、教育委員会にて調査結果を示した報告書や現地説明会を開催していますので、貴重なご意見として教育委員会に情報提供していきます。
3	事業継続を要望	水神様の移設を要望。新和口橋と接続道路との交通安全確保(を要望)	水神様を含めて工事に支障となる物件については、移設対応を行います。 新和口橋の交通安全対策は、市や地元住民、及び必要に応じて警察と相談して、計画を策定します。
4	見直しを要望	これだけの長い期間を要するなら、他の箇所を改修すべき。七夕豪雨で決壊した所に近いところを行った方が効果が上がる。	再度災害防止の観点から、決壊した付近の堤防整備は完了しています。各地点の流下能力を考慮し、効果的かつ安全な施工順序として下流から整備を進め、早期の完成を目指してまいります。
5	事業継続を要望	川幅を広くしたことは良いと思うが、津波がより上流に上がるのではないかと心配である。堤防の補強・嵩上げが必要。	太田川の河川堤防高は津波を考慮し整備がされています。堤防の液状化対策として、地盤改良等の堤防補強は平成27年度までに概ね整備済みです。
6	事業継続を要望	工事を開始する前に地元以案を示して決定して行ってほしかった。	河川改修や流下阻害となっている和口橋の架け替え等、本県と磐田市、袋井市両市で、説明会の開催や広報紙、HPなどの各広報媒体により、今まで以上に地元住民への広報に努めます。
7	事業継続を要望	川幅が広がれば治水効果があると思うし、ここまで工事を進めてきたなら中止する必要はない。 堤防の強度が心配である。	河川堤防の耐震化として、河口から約4km付近まで耐震照査を実施し、対策が必要な箇所は耐震工事を行っております。 出水による堤防の越水や洗掘などの対策として、必要な堤防の高さや幅も整備済みとなっております。今後、鬼怒川のような破堤被害を未然に防ぐため、現在施工している掘削工の推進や堤防からの越流や洗掘等に対する対策を検討していきます。
8	事業継続を要望	農地を買収して25年以上の期間を経ておりますが、未だ和口橋の南で工事を行っているようですが、和口地域では林のような荒地で管理に手を焼いております。もう少し計画性を持って行ってもらいたい。また、地域状況等を知らせるべきではないか。	太田川の河川改修は、各地点における流下能力と事業効果を考慮し、段階施工を計画的に進めております。大規模な掘削土量や非常に軟弱な土質条件等により、工事費の増額や工期も長期化しております。
9	事業継続を要望	太田川河口から二瀬橋まで、津波対策で、堤防の補強工事(幅を広く、高く)も早急に進めてほしい。	太田川は、過年度より津波対策として堤防の嵩上げを整備してきており、堤防高、幅の整備を行っております。第4次地震被害想定が公表され、堤防の耐震化の整備も進めており、引き続き、最新の知見を元に地震や津波に対する整備を進めていきます。
10	事業継続を要望	工事がはじめられた頃は、工事の内容や工事車両の通行などを回覧で知らせてくれましたが、最近はそのがなくなりました。工事の進展等は気になりますので知らせてほしい。	河川改修の状況や今後は流下阻害となっている和口橋の架け替えを実施していくので、本県と磐田市、袋井市両市で、説明会の開催や広報紙、HPなどの各広報媒体により、今まで以上に地元住民への広報に努めます。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 広域河川改修事業  
 箇所名: 二級河川 太田川  
 照会者: 磐田市和口自治会、袋井市浅羽西連合自治会

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
11	事業継続を要望	堤防の草刈り等、地元住民に協力を求める一方で、地権者・管理者としての役目も果たしていただきたい(終了後の管理)。 太田川洪水防止対策事業をこれまで進めてきて、対策事業全体の有効性・規模の妥当性が確保されていれば、進捗を早めていただきたい。 ダム completion など別途対策の終了など、状況に変化が生じ当初計画の見直しが必要ならば、大胆に実施していただきたい。	堤防の草刈り等の河川美化について、ご理解ご協力をいただき大変有り難く、堤防点検等の河川管理にも役立っております。ついてより良い手法を検討します。 当事業の推進は、太田川水系の下流部の工事であり、太田川流域の各支川の洪水対策に大きく寄与するものとなりますので、予算確保や安全な施工に努め、早期完成を目指します。 当箇所の整備は太田川流域の治水対策として重要な整備箇所となっておりますので、まず当箇所の整備を進め、その後必要に応じて計画見直し等を行い、流域全体の治水対策を実施していきます。
12	事業継続を要望	工事用ダンプカーも多くなることから、交通安全順守をお願いします。 道路も傷みますので、工事完了後、損傷のひどい箇所の修復をお願いします。 工事の進行状況を定期的に住民に知らせてほしい。	土砂運搬車両の安全対策として、運搬台数制限、運搬ルートの制限、登下校中の運搬制限等を検討し、周知徹底を図ります。 道路損傷については、状況に応じ対応いたします。 河川改修の状況については、説明会の開催や広報紙、HPなどの各広報媒体により、今まで以上に地元住民への広報に努めます。
13	事業継続を要望	子供達も通るみちなので、ダンプカーなどの交通安全順守をお願いしたい。	土砂運搬車両の安全対策として、運搬台数制限、運搬ルートの制限、登下校中の運搬制限等を検討し、周知徹底していきます。
14	事業継続を要望	ダンプの運転に注意してほしい。前回急停車された。	土砂運搬車両の交通安全として、ダンプ運転手における安全教育等を行うような対策を図っていきます。
15	事業継続を要望	工事に対する地元の苦情が無いよう配慮してほしい。説明会や情報(提供)をして、不信感無いようにしてほしい。	河川改修の状況については、説明会の開催や広報紙、HPなどの各広報媒体により、今まで以上に地元住民への広報に努めます。
16	事業継続を要望	想定外の災害が多発している。自然の力の大きさを感じるのと同時に、「想定」の見直しが必要である。 本事業においても、「想定の見直し」を強く望む。 住民の関心は高い。自動車の通行ができない橋と聞いているが、この件についても、意見が多様である。率直な誠意ある説明を求める。	想定外の洪水に対する対策として、最大規模の雨量に対する浸水想定区域図、及び洪水HMの策定を予定しています。近年想定以上の豪雨も多発していますので、河川整備のハード整備だけでなく、水位情報の提供や避難等のソフト対策を合わせて治水対策が必要としております。河川改修については、降雨に対する計画的な整備を進めており、早期の完成を目指します。 和口橋の架け替えについては、県と磐田、袋井両市で整備を進めておりますので、引き続き説明会等において説明していきます。
17	事業継続を要望	最近、雨の量が多く、洪水対策に対して大変良いと思います。	引き続き、関係市町や地域住民の方々と協力しながら、早期の工事完了を目指して事業を推進する。
18	事業継続を要望	早く進めていただきたい。	引き続き、関係市町や地域住民の方々と協力しながら、早期の工事完了を目指して事業を推進する。
19	事業継続を要望	生活環境が現状より少しでも向上する方法で、継続してください。	引き続き、関係市町や地域住民の方々と協力しながら、早期の工事完了を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 広域河川改修

箇所名: 二級河川 敷地川

照会者: 磐田市向笠自治会

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	早く工事を完了願う。	引き続き、予算確保と安全施工に努め、早期完成を目指して整備を推進していきます。
2	中止を要求	これまでの改修工事で、下流域の川幅が広がったことにより、十分に河床が下がり、洪水被害の危険はほとんどなくなったと思うから。 七夕豪雨で、床上60cmの浸水被害を受けたが、自力で住宅の嵩上げ工事を行い、当時と同程度の雨量があっても被害は受けなくなっている。今後の工事は、住宅の移転等巨額の補償費と、交渉の長期化が予想され、費用対効果から見ると、完全に工事を続行する意義は失われている。これまでの工事で十分である。	河川改修を実施した事業効果は出ておりますが、未改修区間の流下能力不足は否めず、近年の発生している想定外の豪雨災害に対しても事業を進める必要があると考えます。 また、事業継続の要望や環境に配慮するなど事業を見直しながら実施してもらいたい、との地元の皆様の意見があることから、事業を継続してまいりたいと考えています。
3	見直しを要求	温暖化により、自然災害は年々甚大になり、河川水位は上がる可能性はあるが、このような現在の工事で対策が可能とは思えない。 将来的な水位変化についての対策説明、またその必要性についての議論・提案 治水のみを考えた工事では、将来、再改修が必要となるのではないか。問5(洪水災害の防止、動植物の生態系の保存、良好な水質の確保、良好な河川景観の確保、水に親しみやすい環境の整備)について、今回の事業がどのように考慮されているのか、住民がもっと知る必要があると思う。自身も関心がある。	河川改修を実施した事業効果は出ておりますが、未改修区間の流下能力不足は否めず、近年の豪雨災害の状況や地元意見から事業を進める必要があると考えます。 河川整備における環境への配慮についても、治水対策と併せて環境配慮についても説明会等で説明していきます。
4	見直しを要求	太田川下流の整備により、洪水防止の効果は十分かと考えます。	太田川下流の改修も必要で、事業を進めておりますが、それによる影響は軽微で、当地区での改修も必要と考えます。
5	見直しを要求	河川敷をコンクリートで固めず、魚の隠れ家を作るようにしてください。	寄せ石による魚類の生息環境の確保など、河川環境にも配慮した河川整備に努めます。
6	事業継続を要望	小藪川・敷地川合流点上流の川の拡幅を要望します。	当該箇所は整備済みになります。 現地の状況を確認し、必要に応じて対策を図っていきます。
7	事業継続を要望	笠梅橋～見取橋付近は洪水の可能性があるのでほとんど工事がされてなかったと思う。上流部は工事が終了している。	現在工事を進めている区間であり、継続して工事が必要な区間であり事業を進めていきます。
8	事業継続を要望	安心して暮らせる環境を早く完成してほしい。	引き続き、予算確保と安全施工に努め、早期完成を目指して整備を推進していきます。
9	事業継続を要望	水遊びの出来るように水辺まで行けるところを作ってほしい。	今後の適切な維持管理を考慮して、水際への階段等のアクセスについても検討してまいります。
10			
11			
12			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 総合流域防災事業  
 箇所名: 一級河川 葦山古川  
 照会者: 伊豆の国市内中区長

担当課: 河川海岸整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・内中地区を浸水被害から守るために引き続き事業の継続を望んでいます。	引き続き、関係市町や地域住民の方々と協力しながら、早期の工事完了を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 通常砂防事業  
 箇所名: 静居寺沢  
 照会者: 保全対象を含む島田市旗指地区住民55世帯を対象に31世帯

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった31世帯のうち94%の住民が砂防堰堤の早期完了を望んでいる。	引き続き、効果的な施設整備と工程管理に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 通常砂防事業  
 箇所名: 丹谷沢  
 照会者: 渡ヶ島地区住民自治会長含む6世帯

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・天竜地区は土砂災害が発生しやすいと感じており、6世帯とも事業の早期完了を願っている。	引き続き、効果的な施設整備と工程管理に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 火山砂防事業  
 箇所名: 萩沢  
 照会者: 保全対象を含む地区住民10世帯

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった10世帯のうち70%の住民が砂防堰堤の早期完成を願っている。	引き続き、効果的な施設整備と工程管理に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 火山砂防事業  
 箇所名: 谷戸沢  
 照会者: 保全対象を含む住民37世帯

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった37世帯のうち86%の住民が砂防堰堤の早期完成を願っている。	引き続き、効果的な施設整備と工程管理に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 火山砂防事業  
 箇所名: 陰野川  
 照会者: 保全対象を含む住民106世帯を対象に70世帯

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった70世帯のうち90%の住民が砂防堰堤の早期完成を願っている。	引き続き、効果的な施設整備と工程管理に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 火山砂防事業  
 箇所名: 鷺頭川  
 照会者: 保全対象を含む住民81世帯を対象に74世帯

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった74世帯すべての住民が砂防堰堤の早期完成を願っている。	引き続き、効果的な施設整備と工程管理に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 火山砂防事業  
 箇所名: 川坂沢  
 照会者: 保全対象を含む地区住民9世帯

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	回答のあった9世帯のうち78%の住民が砂防堰堤の早期完了を望んでいる。	引き続き、効果的な施設整備と工程管理に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 横田久命  
 照会者: 被害想定区域内の住民7戸

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・進捗度が遅いため、早く事業を進めてほしい。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 丸子赤目ヶ谷B  
 照会者: 被害想定区域内の住民8戸

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震、大雨に対し、大変不安に感じて生活している。</li> <li>・早急に施工をお願いします。</li> <li>・事業の継続をお願いします。</li> </ul>	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 草薙東護  
 照会者: 被害想定区域内の住民18戸

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設完了は未だ1/3の段階。残り2/3を早く設置してください。</li> <li>・早期の工事完了をお願いします。</li> </ul>	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 杓谷

照会者: 被害想定区域内の住民10戸

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・途中で止められたら困ります。</li> <li>・山からの水の多さにびっくりした。排水処理の改善も期待している。</li> </ul>	<p>引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。 また、排水処理については、現場の状況や擁壁設置による影響を見極めながら、適切に対処していく。</p>
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 崎平  
 照会者: 被害想定区域内の住民15戸

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・地域住民の生命・財産等の安心・安全のためには今後も重要な事業と感じます。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名: 両島瀬林

照会者: 被害想定区域内の住民8戸

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山の途中で擁壁と排水路が止まっているため、このままの状態では完成になってしまうのは困ります。</li> <li>・工事がとても遅く、心配しております。早く事業を進めてほしいと思っております。お願いいたします。</li> </ul>	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 船明山下  
 照会者: 被害想定区域内の住民8戸

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請及び工事決定から着手までが、他の地域に比べて早く、当局の方々の御尽力に感謝申し上げます。</li> <li>・急傾斜地事業の要望に対して、早急な対応をしていただき、大変感謝しています。</li> </ul>	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 急傾斜地崩壊対策事業  
 箇所名: 大谷No. 2  
 照会者: 被害想定区域内の住民8戸

担当課: 砂防課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	・継続して施工実施していただきたい。	引き続き、効果的な施設整備と工事規模に応じた予算確保に努めながら、早期完成を目指して事業を推進する。
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料7

事業名: 高潮対策事業

箇所名: 御前崎港海岸

照会者: 高潮対策事業の受益者(地元住民及び港湾関連企業)

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	御前崎港の開発が進んだ今、防潮堤早期完成を望む、港近くの人の意見がある。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
2	事業継続を要望	区民の人命を守るためにも継続を要望する。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
3	事業継続を要望	東海地震、南海トラフ地震が報じられて数十年が経過して、津波対策防潮堤が進む中、心配される津波の高さも場所により数メートルから十数メートルと報じられている。当地区には海岸線上の海拔数メートルの所に民家が多数有り津波対策は急務とされている。現在行われている御前崎港海岸高潮対策事業の早期完成を要望する。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
4	事業継続を要望	計画通り、中止せずに、進めてほしい。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
5	事業継続を要望	東北の地震・津波、熊本の地震と発生し、東海地区の地震もいつ起きてもおかしくない。 早急な対策が必要。整備期間を短縮してほしい。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
6	事業継続を要望	隣の企業まで堤防が完成しているが、自社部分は着工にも至っていないので、早急に進めて頂きたい。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
7	事業継続を要望	熊本地震の例もあり、東海、東南海地震に対する備えは、必要不可欠と考えています。	早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	御前崎港内に事業基盤を置くものとして、従業員の安全・安心のため、高潮対策事業の継続を要望します。	事業を継続させ、防護ラインの早期完成を目指す。
9	事業継続を要望	御前崎港周辺を主な生産活動の場所とする漁業関係者にとって、津波対策はもっとも重要な防災対策と考える。 事業継続は無論、早期の事業完了を望みたい。	早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	当社事業場従業員の津波リスク低減の為、早期完成をお願いします。	早期完成を目指して事業を推進する。



## 平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料7

事業名: 海岸環境整備事業

箇所名: 榛原港海岸

照会者: 受益者10名

担当課: 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	広く市民にアンケートは、協働の点から大変良いことと思います。環境を整えていくことは、意義あることと思います。	環境整備事業について評価をいただいたと判断する。今後も事業を継続し、早期完成を目指して事業推進する。
2	事業継続を要望	このような公共事業はとても良いと思います。是非、実現してほしいです。	環境整備事業について評価をいただいたと判断する。今後も事業を継続し、早期完成を目指して事業推進する。
3	事業継続を要望	年配なので利用する機会は、ほとんど無いと思いますが将来の子、孫の世代で利用できると思います。美しく安全に整備されてゆくことは大賛成です。	環境整備事業について評価をいただいたと判断する。次世代の子供達のためにも、早期完成を目指して事業推進する。
4	事業継続を要望	昔より榛南の海は好きでよく海浴に行きました。子供や孫達もうれしいと思います。	環境整備事業について評価をいただいたと判断する。次世代の子供達のためにも、早期完成を目指して事業推進する。
5	事業継続を要望	高校時代(榛原)の思い出で深い海岸なので、いつまでも大切にしたいと思います。	今後も事業を継続し、早期完成を目指して事業推進する。
6	事業継続を要望	居住環境が良くなる事は良いと思います。静波海岸は知名度もあるので整備されれば他県から来る人のためにも良い事だとは思いますが。	環境整備事業について評価をいただいたと判断する。今後も事業を継続し、早期完成を目指して事業推進する。
7	事業継続を要望	静波の近くの人には大変いい事だと思います。	環境整備事業について評価をいただいたと判断する。今後も事業を継続し、早期完成を目指して事業推進する。
8	事業継続を要望	私は、直接利用することはないと思いますが、将来的に孫、子の為には必要かも知れません。	環境整備事業について評価をいただいたと判断する。次世代の子供達のためにも、早期完成を目指して事業推進する。
9	事業継続を要望	静波海岸が整備されることは大変よい事と思いますが高齢者となった今は見学に行くことも出来ずもっと早くからこうした環境があれば子供、孫にも利用できたとおもうので今は残念に思います。世間の人たちには大いに利用されると思います。	環境整備事業について評価をいただいたと判断する。今後も事業を継続し、早期完成を目指して事業推進する。
10	事業継続を要望	若い人たちにはいい計画だと思います。	今後も事業を継続し、早期完成を目指して事業推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料7

事業名： 廃棄物処理施設等整備事業

箇所名： 清水港(三保地区)

照会者： 清水区三保地区在住の住民5名

担当課：港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	港内の浚渫土砂の受入場所が限られているという点では、事業を継続し、受入場所を確保することは意味があることである。	都市化の進展や海洋環境保全等の観点からも、浚渫土砂の陸上処分地の確保や海洋投棄が困難となっている。引き続き、浚渫土砂の受入場所として機能を発揮させるとともに、事業を推進していく。
2	事業継続を要望	土砂の処分をするにも通常通り民間処分すれば高いコストがかかると思う。それを本事業により縮減することが出来ているなら引き続き継続すべきである。	浚渫土砂の処分にあたっては、他の公共事業への有効活用等も検討しつつ、引き続きコスト縮減に努め事業を推進していく。
3	事業継続を要望	今までは民間会社の処分場だと思っていた。人目につかない場所の事業のため、事業内容をPRした方が良いのではないかと？	事業内容や本事業を実施することにより得られる効果等の広報活動にも力を入れていきたい。
4	事業継続を要望	港内の浚渫土砂の処分費が高い現状があるのであれば、受入場所を確保して、コスト縮減に努めるというのは良いことである。	引き続き、コスト縮減に努めつつ、事業を推進していく。
5	事業継続を要望	浚渫土砂は使い道が難しいと思う。受け入れることが出来る土地があるならば、有効利用すべきである。	浚渫土砂の処分にあたっては、まずは他の公共事業等への有効利用を検討し、有効利用先がない場合に当該処分場に埋立処分を行っている。コスト縮減の観点からも、引き続き浚渫土砂の有効利用先の確保を検討しつつ事業を推進していく。
6			
7			
8			
9			
10			

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方

資料7

事業名： 公害防止対策事業

箇所名： 田子の浦港

照会者： 公害防止対策事業の受益者10名

担当課： 港湾整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	次世代の事を思えば、安全な環境づくりは、我々の義務だと思う。	環境基準の早期達成に向け、事業を推進していく。
2	事業継続を要望	漁港でもあるので、汚染のない環境に改善して欲しい。港自体が憩いの場となるような田子の浦港にして欲しい。	引き続き海底部の環境改善に努めるほか、引き続き港湾環境整備事業による緑地整備等を実施し、田子の浦港周辺における憩いの場の創出を図っていく。
3	事業継続を要望	田子の浦港は富士市にとって海からの玄関であり、安心・安全が最優先である。富士山を求めて来る外国人客に対して安全を発信するためにも、今後も田子の浦港の環境改善を進めていって欲しい。	引き続き海底部の環境改善を進め、事業の進捗状況や汚染底質除去後の環境基準の達成状況等についての広報活動にも力を入れていきたい。
4	事業継続を要望	田子の浦港と聞けば、ひと昔前のヘッドロを思い出す。今は富士山ブームによって県内、各市町村ではきれいな明るい街づくりの環境改善を行っている。田子の浦港も由比、沼津港に負けない汚染のないきれいな港、"富士山の見える日本一の港"をめざして頑張してほしい。	引き続き海底部の環境改善に努めるほか、富士山に一番近い港としての地域の優位性を生かし、港を中心とした地域の賑わいづくりに貢献していきたい。広報活動にも力を入れていきたい。
5	事業継続を要望	1)矢板護岸周辺のダイオキシン類の測定をしてほしい。 2)田子の浦港に流入する工業排水、家庭排水等のチェックを強化してほしい。 3)田子の浦港の環境改善を早期に完成させ、子孫に影響のない様にしてほしい。	1)矢板護岸を用いて整備した依田橋水面処分場は、法令で定められた管理型処分場に相当し、水を通さない二重矢板構造を採用している。水面処分場内部及び護岸周辺海域では、定期的なモニタリングを行い、環境基準を達成していることを確認している。 2)現在は、法規制により、ダイオキシン類の発生源と考えられる物質の排出はなく、汚染土砂除去後の海底では環境基準を超える底質は確認されていないが、引き続き、港内に流入する工場排水、家庭排水が環境基準以下となっているか監視していく。 3)早期の環境基準達成に向け、事業を推進していく。
6	見直しを要望	ダイオキシンを留める原因は工場から排出される物質が原因であると思うので関係する企業が処置すべきであると思う。	ダイオキシン類による汚染が発見された時点で詳しい調査や工場への立入検査を行った結果、汚染原因は特定できなかった。富士地域公害防止計画に基づき、田子の浦港の管理者である県が、県民の生活環境の保持を目的に関係機関等との連携を図り事業を実施している。
7	事業継続を要望	6年前に引っ越してきて富士市に住んでいるが、田子の浦の海底に汚染土砂があった事は大変ショックである。直ちに除去して頂きたい。今まで、田子の浦で漁獲されていた魚を子供達に食べさせていた事にもショックを受ける。海が安心して安全でなければ、富士の名産「しらす」にも悪影響となる。せっかくの観光スポット「田子の浦みなと公園」もがっかりである。ただ改善途中であるとの事なので、きれいな海になるように、今後も努力していただきたい。	ダイオキシン類については、国が「人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準」として定めた環境基準を目標値として実施しており、平成28年度末で確認されているダイオキシン類を含む堆積土砂のうち88%の除去が完了する見込みである。早期の環境基準達成に向け、事業を推進していく。
8	事業継続を要望	ダイオキシンを含む土砂の除去作業を行っていることを知らなかった。これからも環境改善は続けてほしい。田子の浦港の資源が保たれ安心して食につながってほしい。	早期の環境基準達成に向け、事業を推進していくとともに、事業の進捗状況や汚染底質除去後の環境基準の達成状況等についての広報活動にも力を入れていきたい。
9	事業継続を要望	安心・安全な海が持続できるように関係者皆様のご尽力をお願いします。富士山と田子の浦港は富士市の自慢の絶景の1つ。自然環境も改善されるように願っている。	早期の環境基準達成に向け、事業を推進していくとともに、地域の景観に配慮した港湾環境整備を図っていく。
10	事業継続を要望	この事業は最後まで何年かかってもやり遂げてもらいたい。年度末のくだらない道路工事より、こういう自然環境や命にかかわる事業に、市や県は優先的に税金を使って欲しい。	環境基準の早期達成に向け、事業を推進していく。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名:	街路整備事業
箇所名:	JR東海道本線・JR御殿場線
照会者:	事業説明来場者(3/7~3/11ブラサヴェルデ事業説明)

担当課:街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	昔の沼津は東部の中心だった。沼津がこれ以上衰退しないよう、早くこの事業を進めてほしい。	本事業に伴い生じる鉄道跡地等を活用して、沼津市民だけではなく、県東部地域の人々が交流できる新たな魅力づくりを行うことで、賑わいの創出や交流人口の増加など、広域的拠点性の向上が期待できる。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	人を呼び込むようなソフト面も考えて事業を進めていてもらいたい。	本事業に伴い生じる鉄道跡地等を活用して土地の高度利用を図ることで、県東部地域の広域拠点としてふさわしい魅力的な空間づくりができる。引き続き、市民の方の意見を聞きながら、人を呼び込むようなソフト面を検討していきたい。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業中止を要望	人口が減少する中では、この事業は不要である。	本事業を核とする沼津駅周辺総合整備事業では、人口減少も踏まえ、時代に合ったまちづくりの検討を進めている。引き続き事業の理解が得られるよう努めていく。
4	事業継続を要望	高架化による跡地利用に期待している。病院や市役所が駅の近くにできたら便利になるので、早く実現させてもらいたい。	本事業に伴い生じる鉄道跡地等を活用して土地の高度利用を図ることで、県東部地域の広域拠点としてふさわしい魅力的な空間づくりができる。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	高架下の活用、既存の商店街との一体的なまちづくりを進めるためには、鉄道の高架化が必要である。	本事業に伴い生じる鉄道跡地や高架下を活用して、南北市街地が一体となった県東部地域の広域拠点としてふさわしい魅力的な空間づくりができる。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	この事業で、駅前に子供が遊べる公園やいつも人が集まっている所を整備してほしい。	本事業に伴い生じる鉄道跡地等を活用して、公園や集客施設等の魅力的な空間づくりができる。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
7	見直しを要望	まちの活性化のために高架は賛成であるが、貨物ターミナルを吉原に持って行ったらどうか。	貨物ターミナルの移転先については、周辺の土地利用や鉄道線形などの視点から比較・評価した結果、現計画が最適であるという判断をしている。
8	事業中止を要望	橋上駅で良い。	橋上駅では、駅での歩行者の南北往来は可能になるものの、沼津駅周辺の慢性的な交通渋滞を解消することができない。引き続き事業の理解が得られるよう努めていく。
9	事業継続を要望	高架に併せて南北の交通が良くなるよう、新しい道路も整備してほしい。	本事業及び沼津駅周辺総合整備事業による道路の整備で、南北交通の円滑化が図れるため、今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	とにかく早く南北通行ができるように事業の進め方を考えてほしい。	本事業については、なるべく工期が短くなるよう新工法等の採用についても検討し、また早期事業効果の発現するよう、工事の施工工程を工夫しながら早期完成を目指して事業を推進する。
11	事業継続を要望	ガードや踏切で事故があるので、早く高架化した方が良い。	本事業及び沼津駅周辺総合整備事業による道路の整備で、南北交通の円滑化が図れるため、今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
12	事業継続を要望	防災面の効果もあるので、早くこの事業を進めた方がいい。	鉄道を横断する道路が拡幅、新設されることにより、消防などの救急、消火活動が円滑に行われる。また、災害発生時の被害拡大防止や避難路の確保などが図られ、防災性が向上する。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。

13	事業継続を要望	早期の事業完了を要望する。	本事業は、交通の円滑化、鉄道跡地等の土地の有効利用、防災性の向上、賑わいの創出が期待でき、沼津市が県東部の拠点都市として成長していくために必要な事業である。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
14	事業継続を要望	用地取得に時間がかかりすぎている。早期に用地取得を完了させるべきである。	本事業は、平成29年度末までに新貨物ターミナル用地の取得完了を目指し、強力に事業展開している。また、鉄道事業者の全面的な協力を得て必要な協議や設計等を進めている。引き続き事業の理解が得られるよう努めていく。
15	事業継続を要望	進められるところからどんどん進めてほしい。	本事業は、平成29年度末までに新貨物ターミナル用地の取得完了を目指し、強力に事業展開している。また、鉄道事業者の全面的な協力を得て必要な協議や設計等を進めている。今後も用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
16	事業中止を要望	これほど時間とお金をかけても沼津市が良くならないので中止したほうが良い。	本事業は、交通の円滑化、鉄道跡地等の土地の有効利用、防災性の向上、賑わいの創出が期待でき、今後、沼津市が県東部の拠点都市として成長していくために必要な事業である。引き続き事業の理解が得られるよう努めていく。
17	事業継続を要望	なるべく沼津市の財政に悪影響を及ぼさないような計画にしてもらいたい。	本事業については、可能な限りコスト縮減に努めるとともに、事業費の平準化を図りながら事業を推進していく。
18	事業中止を要望	次の世代に負担を負わせるのは忍びない。本当に必要な事業であるとは思えない。	本事業は、交通の円滑化、鉄道跡地等の土地の有効利用、防災性の向上、賑わいの創出が期待でき、今後、沼津市が県東部の拠点都市として成長していくために必要な事業である。引き続き事業の理解が得られるよう努めていく。
19	事業継続を要望	鉄道の高架化も必要であるが、事業費が大きいため、駅周辺以外の道路整備に必要な事業費が確保できないことが懸念される。	本事業については、可能な限りコスト縮減に努めるとともに、周辺の道路整備とのバランスに配慮しながら事業を推進していく。
20	事業継続を要望	県、市も貨物駅の移転に反対している方もお互いに譲り合えば妥協点が見つかるのではないかな。	本事業については、2年間かけてPI(パブリックインボルブメント)に取り組み、合意形成に努めてきた。本事業による移転先周辺の基盤整備が進むことなどを説明し、引き続き事業への理解を求めていく。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 街路整備事業

箇所名: 都市計画道路野中棒杭線

照会者: 浅間区、神田川区住民 10名

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	交差点の整備が完了しておらず、渋滞の発生や事故の危険性がある。残りわずかであり、重要路線なので、着実かつ早急に完了させてほしい。	本路線は富士宮市街地の南北交通を担う、重要路線である。交通渋滞や事故の危険性を解消するため、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	歩道の幅員が部分的に狭く、歩きにくい。危険なので、早急に整備を完了させてほしい。	歩行者にとって安全で歩きやすい歩道を整備するため、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	渋滞の発生や事故の危険性がある。歩道が狭い部分があり、歩きにくく、事故の危険性がある。観光客や買い物客の増加につながると思う。着実に完成させてほしい。	本路線は、富士山本宮浅間大社や大型商業施設へのアクセス機能を有しており、本事業区間の整備により、交通渋滞が解消し、歩行者等の安全も確保される。観光客や買い物客の安全を確保するためにも、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	今後、増加が予想される観光客に対して、見苦しいと思う。観光客や買い物客の増加につながると思う。残りわずかなので、早急に整備を完了させてほしい。	本路線は、富士山本宮浅間大社や大型商業施設へのアクセス機能を有しており、富士山世界遺産センターの開館に伴い、今後観光客の増加も予想される。本事業区間の整備により、交通渋滞の解消、歩行者等の安全も確保できるため、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	交差点の整備が完了していないので、事故の危険性がある。早急に整備を完了させてほしい。	交通渋滞や事故の危険性を解消するため、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	完了しないまま、中断するようなことのないようお願いしたい。公共の利益、税金の有効活用を考えれば、1日も早く完成して頂きたい。	交通渋滞の解消、歩行者等の安全の確保を図るため、1日も早い完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	歩道の幅員が部分的に狭く、歩きにくく、事故の危険性がある。危険なので、早急に整備を完了させてほしい。	交通渋滞の解消、歩行者等の安全の確保を図るため、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	現在、渋滞が発生しており、歩道も歩きにくい。重要路線なので、着実に完了させて欲しい。	本路線は富士宮市街地の南北交通を担う、重要路線である。交通渋滞や事故の危険性を解消するため、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	交差点の整備が完了していないので、渋滞が発生している。また、歩道の幅員が部分的に狭く、歩きにくい。残りわずかであり、早急に整備を完了させてほしい。また、重要路線なので、着実に完了させてほしい。	本路線は富士宮市街地の南北交通を担う、重要路線であり、交通渋滞や事故の危険性を解消するため、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	現在、渋滞が発生している。買い物時にはアクセスが不便である。観光客や買い物客の増加につながると思うので、早急に整備を完了させて欲しい。	本路線は、富士山本宮浅間大社や大型商業施設へのアクセス機能を有している。交通渋滞の解消、歩行者等の安全の確保を図るため、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名:	街路整備事業
箇所名:	都市計画道路池田柵線
照会者:	街路整備事業の受益者 15名

担当課:街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	三島駅までのアクセス向上、生活道路の渋滞解消及び新東名長泉沼津ICから三島駅間の早期開通を希望する。	三島駅、新東名長泉沼津IC及び国道246号等へのアクセス向上や生活道路の渋滞解消が図られるよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	都市計画道路池田柵線は長泉町を含め周辺市にとっても大変重要な道路です。3市町にまたがる道路で長泉町の将来にも影響する。是非、早期開通を望む。	今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	三島駅からの利便性が図られるため、事業継続を要望する。	交通の利便性が向上するよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	平成28年3月の開通(中土狩工区)により更に便利となったため、引き続き、事業継続を要望する。	今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	早期に開通できるようにして頂きたい。住民・企業の利便向上や経済効果が大きい。	交通の利便性向上や物流等の効率化が図られるよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	国道246号から町内市街地や三島駅まで繋がると交通が便利になるため。	交通の利便性が向上するよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	徐々に車の台数が増えているので、継続して便利な道路を目指した方が良いと思う。	交通の利便性が向上するよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	市街地から新東名長泉沼津ICへのアクセスが向上するため 国道246号等の幹線道路を結ぶことにより、生活道路の交通渋滞が減るため。	三島駅、新東名長泉沼津IC及び国道246号等へのアクセス向上や生活道路の渋滞解消が図られるよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	主要道路として交通の流れを作ってほしい。	交通の利便性が向上するよう、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
10	事業継続を要望	交通の便が良くなり、地域の活性化が図られるため。	交通の利便性向上や地域活性化を図るために、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
11	事業継続を要望	一刻も早く全路線を開通し、経済効果を高めてほしい。	交通の利便性向上や地域活性化を図るために、今後も残りの工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 街路整備事業

箇所名: 都市計画道路志太中央幹線

照会者: 街路整備事業の受益者 26名

担当課: 街路整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	ほとんどの地権者が立退済みのため、開通を急いでほしい。 あと左車神社だけが残っているが、移転候補地がある程度決定しているので前向きに事業を進めてほしい。	左車神社の移転候補地に関しては、町内会の決定を尊重して、神社が移転できるよう、引き続き、県・市で協力し、早期完成を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	街の形態が定まらなければ、新しい住民や事業者が来ない。	新たな街の形態がわかるよう、優先して用地取得を進めている天王町交差点(事業起点)から都市計画道路藤枝駅広幡線(旧東海道)までの間を早期に供用開始できるよう検討していく。
3	事業継続を要望	隣接の水守地区の区画整理に伴う発展は目覚ましいものがあり、左車地区も道路の早期完成による発展を望みたい。	優先して用地取得を進めている天王町交差点(事業起点)から都市計画道路藤枝駅広幡線(旧東海道)までの間を供用開始できるよう検討するなど、早期完成を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	昭和46年に志太中央幹線の話が持ち上がり、今年で45年経過しました。道路完成まで滞ることなく進めてほしい。	市や地元と協力して、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	計画から時間がかかり過ぎている。地元として新しい街づくりに努力している。遅滞なく進めてほしい。	市や地元と協力して、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	左車神社の移転は、町内で行わなければならないのか？ 移転しないとイケないのであれば、移転に係る諸経費を明らかにしてほしい。	宮司様との協議で、町内会の決定を尊重して移転したい旨を伺っているため、移転候補地の選定をお願いしたい。 移転に係る諸経費(用地・物件補償費)の提示については、権利者に対して報告することとなる。
7	事業継続を要望	新規事業に難題はつきものなので、交渉を積極的に行ってほしい。	市や地元と協力して、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
8	事業継続を要望	町内で左車神社の移転・防災倉庫等を策定すべく定期的な会合を開催している。平成30年の完結に向けてタイムスケジュールに沿った管理を推進していくので、ご配慮をお願いしたい。	市や地元と協力して、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
9	事業継続を要望	道路完成時の周辺状況を明らかにしてほしい。	今後、事業の節目に開催する説明会の場において説明していく。 また、要望があれば、随時説明していく。
10	事業継続を要望	既存道路を含めて、歩行者の安全確保を第一に整備を進めてほしい。	市や警察署と協議して、歩行者等の安全確保に努めていく。

11	事業継続を要望	交通の便が良くなると思うので、事業継続を希望する。	交通の利便性を向上するよう、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
12	事業継続を要望	周辺道路が通勤・通学時の渋滞及び多くの歩行者・自転車の通行により、危険である。現事業区間の整備だけでなく、それより南側も事業を進めなければ、安全にならないので、早期の事業完成と南側の事業着手を希望する。	市や警察署と協議して、歩行者等の安全確保に努めていく。事業区間の南側については、関係機関と協議していく。
13	事業継続を要望	供用開始による周辺道路の渋滞の緩和を期待する。	交通の利便性を向上するよう、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。
14	事業継続を要望	神社を保存してほしい。	地元と協議しており、移転補償を前提として話を進めている。
15	事業継続を要望	家の前に道路ができるとうるさいし、無用心になるので中止を希望する。ただし、今さら中止は困難だと思う。周辺道路の渋滞を減らすのは、事業区間の南側も道路整備が必要なため、引き続き事業区間南側の着手を望む。	本路線は、志太地域の南北軸となる主要幹線道路であり、周辺道路の混雑緩和や歩行者等の安全の確保に繋がるため、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。事業区間の南側については、関係機関と協議していく。
16	事業継続を要望	新東名高速道路もできたので、必要性をあまり感じない。	本路線は、志太地域の南北軸となる主要幹線道路であり、周辺道路の混雑緩和や歩行者等の安全の確保に繋がるため、今後も残りの用地補償や工事を着実に進め、早期完成を目指して事業を推進する。

平成28年度 公共事業の再評価に関する関係者等の意見と県の考え方(案)

資料7

事業名: 農地整備事業(畑地帯担い手育成型)  
 箇所名: 矢部地区  
 照会者: 矢部土地改良区役員、自治会役員ほか

担当課: 農地整備課

番号	聴取した意見内容		意見に対する県の考え方
	意見	内容	
1	事業継続を要望	体力的、年齢的、最初からの年月の長さ等々を思うと、一日も早く完成式を迎えたいと思う。農産物価格の不安定さ(特に柑橘)を考えると先行き不安だが、最初の方針通り進みたいと思う。	急傾斜樹園地を区画整理により平坦化することにより、作業効率の向上と生産コストの縮減が図られ、また、営農意欲の高い担い手への農地利用集積や経営規模の拡大が進むことにより、本地域の農業生産力の強化が図られるため、早期完了を目指して事業を推進する。
2	事業継続を要望	一日でも早い完成を望む。風光明媚な場所なので、観光などを含めた計画！地元のためになるのでは。	現在、隣接する村松滝川地区と連携し、「矢部・村松滝川地区 農村景観保全指針(案)(仮称)」の策定を目指しており、色彩等に配慮した農村景観を保全することで、観光資源としての活用が図られる。また、周辺にはハイキングコースが設定されており、今後アグリウォーキング等への取り組みを関係者と検討しているため、早期完了を目指して事業を推進する。
3	事業継続を要望	JA清水の関係土地改良区は次々と完了しているが、これからあと数年のところもある。完成した土地改良区における平坦な園地、水利の利便性等、色々みている。次の世代に自分達の時代とは違う経営、経済効率の良い農地を残してやりたいと思う。現状かなりの進行を感じている。ただし、地権者の年齢は年々高くなる。自分達が元気なうちに、次世代の人達が目で見えて、ああこれなら自分もやってみたいと思わせたい。	急傾斜樹園地を区画整理により平坦化することにより、作業効率の向上と生産コストの縮減が図られ、また、営農意欲の高い担い手への農地利用集積や経営規模の拡大が進むことにより、本地域の農業生産力の強化が図られるため、早期完了を目指して事業を推進する。
4	事業継続を要望	植栽して4回収穫した。昨年から薬剤散布にはSSを導入し、みかんの収穫時には畑の中に軽トラを入れ、楽に収穫できる。平らな畑だから作業を楽にできる。後継者も少なく、高齢化もますます進むので、早期完成を願う。TPP問題もある。土地改良区内の農業用倉庫が必要なため、早期に建設したい。	急傾斜樹園地を区画整理により平坦化することにより、作業効率の向上と生産コストの縮減が図られ、また、営農意欲の高い担い手への農地利用集積や経営規模の拡大が進むことにより、本地域の農業生産力の強化が図られるため、早期完了を目指して事業を推進する。
5	事業継続を要望	土地改良区の畑を借りて早生青島みかんを作っているが、とても作業が効率よく楽にできる。今年では自分の地所に植え付けが出来るので楽しみ。工事が早く完了することを望む。水が早く使えるようにしてもらいたい。	農業用水を安定的に確保するためのさく井工事、揚水機場、ファームボンド及び畑かん施設を順次整備し、本年度中の供用開始を目指して事業を推進する。
6	事業継続を要望	長男の就農に備えて農業経営の基盤を強化したいと考えるようになった。規模拡大をするにあたり生産効率の高い畑を借りるのは必須となっているので事業継続を強く希望する。1haの借地を希望する。	農地中間管理機構と連携した農地集積を推進するため、早期完了を目指して事業を推進する。
7	事業継続を要望	規模拡大、合理化を進める事により、品質向上に繋がる。それを土台にして矢部地区を活性化させ、全国の消費者に向け発信する。一般通行者のマナー改善に向け、立て看板を設置してほしい。(車両のスピード、犬のフンなど)交差点箇所の安全対策。(カーブミラー、停止線など)	事業の進捗とともに危険箇所へは安全施設等を設置し、通行車両等の安全確保を図ってきたところである。区画整理が完了に近づき、通行ルートが多様化したことで危険箇所が増加しており、安全施設等を追加設置し地区内の安全確保を図る必要があるため、早期完了を目指して事業を推進する。